国家公務員共済組合連合会
佐世保共済病院 広報誌

2003
Vol.3
第1号

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper

きょうさいだより

佐世保共済病院写真コンテスト作品　佐世保市長賞　水　田　　孝　【春の佐世保公園】

理　念

博愛の精神
人の和
自己研鑽

目　標

1．私達は、地域のみなさんのニーズに応え、信頼してもらえる医療をめざします。
2．私達は、他の医療機関と共に、地域のみなさんの診療と健康増進に努めます。
3．私達は、新しい医学、医療の知識と情報を取り入れ、常に自己啓発に努めます。
4．私達は、それぞれが自己の責任を自覚し、安全な診療をめざします。
5．私達は、病める人の苦しみや喜びを分かち合う心をもって診療に努めます。

INDEX

●院長挨拶、褥瘡対策委員会の発足、歯科・口腔外科診療の再開について …… p.1
●第2回臨床病理検討会（CPC）報告、院内合同カンファ報告、透析室紹介 …… p.2
●診療活動の現況 …… p.3
●新採用医師の紹介、職場紹介 …… p.5
●「教養室」紹介、TOPICS、編集後記 …… p.6
●外来診療担当表 …… p.7

SASEBO KYOSAI HOSPITAL　〒857-8575　長崎県佐世保市島地町10番17号（代表）ＴＥＬ　0956-22-5136
患者紹介受付専用FAX　0120-12-2067
ホームページ　http://www.kkr.sasebo.nagasaki.jp
急患室直通FAX電話　0956-22-6052　（代表）ＦＡＸ　0956-25-0662

ごあいさつ

院長　福井（ふくい）　仁士（まさし）

年あらたまり、平成１５年を迎えました。

昨年から医療情勢が一段と厳しくなりましたが、佐世保共済病院は職員のがんばりと地域のみなさんの暖かいご支援により順調に１年を経過することができました。職員のみなさんの努力と配慮に対して管理者としてなにか報いる気持ちを表したく、昨年の１２月２７日の仕事納めのあとに猪の牡丹鍋を作り「院長鍋」と称して職員の皆さんに振る舞いました（写真）。

これは、柚木町でとれた猪を事務部長が貰い受け、私が調理し院長舎宅で４日がかりで煮あげたものです。その間、看護部長が里芋の皮剥きをしてくれました。ほぼ１５０人分の鍋となりましたが、遅れてきた人はありつけないほどでした。猪肉は匂いがあり硬いと思い込んでいる人が多かったようですが、特別な匂いもなく柔らかい肉に仕上げましたので職員の偏見を一掃できたようです。ちなみにヨーロッパではレストランで猪、鹿（のろ鹿）、ウサギの肉の料理がでてきますが、美味しくいただけます。

佐世保近辺には猪がたくさん住んでいます。本年末にも、職員の皆さんのがんばりに対してまた「院長鍋」で報いたいと思っております。本年も、落ち度のない、思いやりのある診療、安定した病院運営ができるように職員の皆さんにお願い致します。また、地域のみなさん、関連する医療施設の方々にも暖かいご支援ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

褥瘡対策委員会の発足

形成外科　芳田　辰也

高齢化にともなう寝たきり患者の増加と共に褥瘡発生の危険性も増加しており、褥瘡の予防、発症後早期からの適切な処置を含めた対策については非常に重要なものであると考えられます。当院では従来、褥瘡に関する診療計画は各病棟で独自に行っておりましたが、昨年１０月より褥瘡対策委員会を発足しました。専門的知識を備えたメンバーが全入院患者を対象に褥瘡に関する評価を行い必要な対策を実施することがより良い医療に結びつくと考えられるからであります。委員会は専任担当医師２名（形成外科・皮膚科）、専任看護師３名、事務局１名より構成され、現在月に４回の病棟回診および委員会を月に１回開催しております。

今後も当院には褥瘡患者さんがほとんどいない状態となることをめざしてがんばっていきたいと思います。

歯科・口腔外科診療の再開について

事務部長　山　﨑　　透

平成１５年１月から月水金の隔日で再開していた歯科・口腔外科診療は、４月１日から常勤医師を迎えて全面的な診療再開の運びとなりました。

当面は歯科医師１名で診療にあたり、手術時には九州大学第２口腔外科医局からの応援で臨むことにしておりますが、将来症例数によっては２人体制も考えられます。歯科医師会の先生方のご支援をお願いして、今後の活発な診療を期待しております。

第２回臨床病理検討会（CPC）報告

臨床検査部長　井関（いせき）　充及（まさちか）

１月３０日に産婦人科と外科の２剖検例について行ったCPCの概要を御報告します。

症例１、「腹膜原発が疑われた漿液性腺癌の症例」

腹部のみの剖検でしたが、腹腔内腫瘍細胞が卵管を経て子宮内膜・頸部細胞診で腺癌と診断された症例です。子宮・卵巣に腫瘍がみられなかったことから原発腫瘍に関する討論がなされました。原発不明癌の一例として貴重な症例でした。

症例２、「胃癌術後に合併症のみられた症例」

胃進行癌術後の吻合部縫合不全の原因などについて討論されました。剖検では癌細胞の残存はみられず、強い動脈硬化症および、それに伴う陳旧性心筋梗塞がみられました。他にアルコール性肝硬変、腎結石、腎委縮を伴っていました。最終的に後壁の心筋梗塞が死因となった症例です。

院内合同カンファ報告

編集委員　谷　口　友佳子

去る２月１８日、当院耳鼻咽喉科：後藤弘毅医長、眼科：園山恭志医長、皮膚科：井上卓也医長の３名を講師とし「各科領域におけるアレルギー性疾患」という演題で分かり易く講演して頂きました。当日は院外の先生方も参加され、アレルギー週間ということもあって、花粉症に関する素朴な疑問などの活発な質問が行われました。

透析室紹介

透析室看護主任　加　藤　　純　子

私達が勤務している透析室は北館の７階、眼下に佐世保川が流れる大変見晴しの良い所にあります。看護師11名、臨床工学技士１名、看護助手2名の計14名のスタッフ全員が「患者さんの苦情にも笑顔で対応」をモットーに日々頑張っています。

現在、約60名程の透析患者さんが、月水金は午前・午後の2クール、火木土は午前の1クール透析を受けておられます。毎回同じ顔ぶれですので何年も勤務していますと、共済病院透析ファミリーのようなアットホームな雰囲気になります。昨年秋には患者会主催での日帰り旅行にも行きました。日頃ベット上でしかめ面の患者さんが、笑顔でコスモスの花を見ていた姿が今でも目に焼き付いています。

あたたかな看護を第一の目標として、医療事故が無いように細心の注意を払っています。又、日頃の日常生活指導にも力を入れ、患者さんのQOL向上を目指し努力の真っ最中です。

透析室スタッフ（前列右端が加藤看護主任）

診療活動の現況ー内科　透析室ー

内科透析担当医師 大塚　容子

〈はじめに〉

わが国では約22万人（2001年末現在、日本透析医学会統計）の方が、慢性腎不全とういう疾患で透析治療を受けておられます。透析は血液浄化臓器である腎臓の機能が低下し、生命を維持することが困難になった方の腎臓の代わりをする血液浄化治療です。透析治療には大きく分けて、血液透析と腹膜透析の2種類がありますが、当院では現在血液透析のみを行っております。全国的にも腹膜透析が行われている患者さんは1万人足らず（4％：2001年末現在）で、腎不全患者さんの大半の方が血液透析を受けておられるわけです。当院ではH2年より透析治療が開始され、現在、13年目を迎えた方がおられます。

〈透析医療の最近の問題〉

透析人口は増加の一途にあり、患者さんの高齢化、糖尿病から腎不全となる症例の増加、長期透析に伴う合併症の増加など、透析医療における問題も確実に増えてきております。

当院においてもそれは例外ではなく、糖尿病性壊疽、急性腹症、種々のアミロイド沈着症など、他科との協力のもとでの対応が必要な合併症が発生しています。

〈当院透析医療の特徴〉

当院の透析室は純粋な透析導入施設というわけでもなく、慢性維持透析だけを行っているわけでもなく、患者さんの必要に柔軟に応じられる診療体勢をとっていることが特徴と言えるかと思います。ある時は導入期2・3回の透析だけを当院で行い、すぐに他院での夜間透析をお願いしたり、ある場合は難治性の合併症のある患者さんや超高齢者に長期の入院透析を行ったりといった具合です。希望される方には腎移植施設への紹介も行っています。現在、当院には腎臓内科医が１名しかおりませんが、他の内科医の協力を得ながら毎日の治療に対応しております。また、他科との協調によりほとんどの合併症の治療が院内で行える体制にあります。

	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年
新規透析導入患者数（名）	18	18	18	16	20
年末維持透析患者数（名）	44	43	47	57	63
血液透析延べ回数	ー	ー	6,564	7,955	9,097

特殊血液浄化療法延べ数

	平成12年	平成13年	平成14年
単純血漿交換（回）	1	17	11
白血球除去（回）	0	10	10
エンドトキシン吸着（回）	2	5	3

昨年は透析ベッド数の増床で２５床となりやや余裕のある運営が出来るようになりました。

また、臨床工学技士の新採用もあり、技術的な面でもより充実が図られつつあります。看護スタッフも新規透析導入の患者さんの指導など、精力的に活動しております。

透析処置中の西本臨床工学技士

〈他の血液浄化療法〉

長期透析患者さんの合併症予防のために、通常の血液透析のほか、必要に応じて血液透析濾過を行ったり、透析液の電解質濃度を変更した処方透析を行ったりしています。

他にも劇症肝炎、肝不全などに行う血漿交換療法、重症感染症の急性期に行う吸着療法（エンドトキシン吸着）、潰瘍性大腸炎に対して行う吸着療法（白血球除去療法）など、透析治療以外の血液浄化療法でも症例を積み重ねてきております。さらに、対外循環で行うその他の血液浄化治療も行えるよう、質的向上を目指しているところです。

〈おわりに〉

慢性腎不全という病気は、透析がまだ必要でない「保存期」をできるだけ長く継続させることがさし当っての治療の目標となります。その一方、どうしても透析が必要となった時には、どのような時でも外来であれ入院であれ安心して透析治療が受けられるような対応が求められるわけです。

当科では糖尿病性腎病の初期段階から重症腎不全に至るまで病状に応じた受け入れを準備しておりますので、腎疾患について遠慮なく、御紹介を頂ければ幸いです。

また外来では、学校検診での検尿異常や、蛋白尿を指摘された方も、紹介のあるなしにかかわらず御相談をお受けしています。

透析室フロア

診 療 案 内

●外来診療日

月・木・金：午前中

（急患はこの限りではありません）

新採用医師の紹介

［内　科］

井川（いがわ）　敬（たかし）

- 出身大学／福岡大学
- 在籍医局／九州大学第一内科
- 卒業年度／H12年
- 専門領域／内科
- ひとこと／よろしくお願いします

［内　科］

幣（しで）　光太郎（こうたろう）

- 出身大学／九州大学
- 在籍医局／九州大学第一内科
- 卒業年度／H13年
- 専門領域／内科一般
- ひとこと／佐世保はいいところですね

［放射線科］

馬場（ばば）　健吉（けんきち）

- 出身大学／久留米大学
- 在籍医局／久留米大学放射線科
- 卒業年度／H8年
- 専門領域／IVR･核医学
- ひとこと／バレーボールを最近までやっていました

職場紹介　サービスセンター（作業室･ボイラー室）　管財課 渕山　勝義

Q どんな職場ですか？

A 病院の施設に関するメンテナンスを委託業者と合同で行っています。委託業者6名、病院職員1名（渕山）の計7名の職場です。

Q 仕事内容は？

A 採用時（S55）は寝具手をしていました。それから職種が変更となり、現在は備品の修理、作成、周辺の環境整備（花壇の管理、窓掃除など）が業務で言わば「便利屋さん」のような仕事です。病院に就職する前は大工でしたので木工関係は得意です。

Q 仕事上、苦労したことは何ですか？

A 寝具手の時は1人で全病棟を担当していましたので、かなりの重労働で何度も辞めようと思いました。また、配管の修理をしていた頃は、深夜まで残り水道管の水漏れ箇所を探し当てていました。水道を使うと雑音が入り、漏れている箇所がわかりませんので、患者さんが寝静まった時間に仕事をしていたという訳です。

サービスセンタースタッフ

得意の大工仕事中の渕山さん

Q うれしかったことは？

A ガス溶接を始め、色々な技術を身に付けることができたことです。

Q おもしろいエピソードなど

A 15年程前に当時の担当課長から「私も受けるから」と嫌がる私を無理矢理タクシーに乗せ、ガス溶接技能講習を受けに行かされたことです。結局、課長は受講せず私を置いて先に帰ってしまいました。しかし、今になって考えてみれば技術を身に付けることができたことを感謝しています。

Q 最後に一言

A 今年3月に定年退職になりますが、今までお世話になった方々に感謝しています。これまで大きなケガはしたことがなかったのですが、昨年、受水槽から転落し右足骨折で2ヶ月入院してしまったことが残念です。神様がそろそろ引退の時期だと教えてくれたのでしょう。

（インタビュアー／編集委員　森　博紀）

「教養室」紹介

整形外科　萩原博嗣

病院施設としては引退して残っている旧南館4階の一角に「教養室」が出来ています。

この室で昨年末から院内の好雀家によって催されてきた第一回「豊村杯」争奪戦の表彰式が1月15日取り行われました。

「豊村杯」は35年に渡ってリハビリテーション室に勤務された故豊村勝義氏を記念した麻雀大会で、名誉ある第一回優勝には検査科の鳥瀬唯典氏が輝き、福井院長からトロフィーが授与されました。

引き続く懇親会ではモツ鍋のにおいを嗅ぎつけた看護師らも加わって大変盛り上がりました。

優勝杯を授与される検査科鳥瀬さん

ちなみに「教養室」には全自動麻雀卓、碁盤などが常備され、二十人位のパーティーには最適です。

TOPICS

風船お姉さん

みなさん、ご存知でしょうか？毎週木曜日14時30分すぎになると小児科や耳鼻科外来の前にかわいらしいピエロが現れるのを。このピエロの正体は、当院薬剤助手の松藤紀世美さんで、5年前からバルーンアートに興味をもち、独学で腕を磨いてきたそうです。今では、すっかり診療を待つ子供達の人気者。これからも「風船お姉さん」として様々な場面での活躍を期待しています。

（編集委員／谷口 友佳子）

共済病院 生け花賞の発表

皮膚科外来前に、患者さんや当院職員から出品された生け花を展示しておりますが、昨年一年間の作品の中から、患者さんの木村カヅエ様が優秀賞に選ばれました。心温まるご厚意に深く感謝し、院長より表彰状と記念品が贈られます。

これからも、この展示場を心の交流の場としてご利用頂ければ幸いです。

編　集　後　記

春分の季節を迎え、きょうさいだよりも創刊3年目となりました。皆様方にも佐世保共済病院広報誌として親しんでいただいていることだと思います。今年も尚一層、内容を充実させて皆様方に喜んでいただけるように努力して参りますので、ご愛読の程よろしくお願い致します。

編集委員　　畑　　宏明

平成15年3月14日発行　佐世保共済病院 広報誌編集委員会

佐世保共済病院

外来診療担当表

平成15年3月14日現在

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考（専門分野・特徴など）
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科	部長代行	福山 邦昭	●				●		●				肝臓、胆嚢、膵臓疾患
	医長	佐藤 浩信			●		●				●		消化器疾患、膠原病
	〃	川崎 千之	●		●				●				血液疾患
	〃	松見 里美	●				●				●		一般内科、消化器疾患
	〃	野口 誠司			●				●		●		肝臓、胆嚢、膵臓疾患、消化器疾患
	〃	車 忠雄	●				●				●		循環器疾患
	医員	日高 孝子			●		●		●				呼吸器疾患
	〃	大塚 容子	●						●		●		腎臓疾患
	〃	石橋 貞利	●		●				●				消化器疾患
	〃	久間 文明			●		●		●				循環器疾患
	〃	松永 圭司	●				●				●		消化器疾患、一般内科
	〃	井川 敬			●						●		一般内科
	〃	幣 光太郎	●						●				一般内科
	糖尿病教室					●		●		●		●	※詳細は内科外来へお尋ね下さい。
小児科	医長	岡 尚記	●		●						●		小児科一般 小児アレルギー疾患 気管支喘息
	医員	古賀 英子	●				●		●				
	〃	大坪 善数			●				●				
	〃	原 美智子					●				●		
	乳児健診					●							火曜PM1：00～
	慢性外来							●					水曜PM2：00～
	神経外来							●					水曜PM2：00～
	喘息外来									●			木曜PM2：00～
外科	外科顧問	松永 章							●				一般外科、消化器科外科、血管外科 呼吸器外科、腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術 内視鏡下外科手術 （●）…月曜の江里口の診療は新患のみ受付 ※血管外科と呼吸器外科は月曜と水曜の午後 ※月曜～金曜の午後は手術 ※詳細は外科外来へお尋ね下さい。
	部長	江里口 直文	（●）				●				●		
	医長	田山 光介	●				●						
	医員	二又 泰彦			●				●				
	〃	朽網 留美子							●				
	〃	田中 厚寿	●				●						
	〃	川畑 方博			●						●		
	〃	原田 洋			●						●		
	〃	柳 克司	●										
脳神経外科	院長	福井 仁士	●				●						脳腫瘍、脳血管障害、頭部外傷、脊椎外科 小児の神経外科、顔面痙攣 三叉神経痛の外科手術
	部長	山川 勇造							●		●		
	医員	濱田 康宏	●						●				
整形外科	部長	萩原 博嗣	●				●				●		骨関節疾患全般 ・股・膝関節の関節形成術、人工関節置換術 ・膝・肩・手・肘の鏡視下手術 ・脊椎外科、腰部疾患手術 ・肩・手の外科（断肢再接着手術を含む） ・リウマチ、スポーツ整形外科、足の外科など
	医長	中家 一寿	●		●				●				
	医員	小澤 慶一					●		●		●		
	〃	芳田 辰也	●		●						●		
	〃	斎田 義和			●		●		●		●		
	〃	水城 安尋	●		●		●						
形成外科	医長	芳田 辰也	●		●						●		先天性奇形、顔面外傷、瘢痕形成、再建外科
皮膚科	医長	井上 卓也	●	●	●		●		●	●	●		※火・水・金午後は手術（陥入爪等） ※水曜の午後は入院患者の手術のみ ※午後の診察はＰM2:00～
泌尿器科	部長	山田 潤	●				●				●		尿路結石、尿路腫瘍、前立腺疾患 体外衝撃波結石破砕術（ESWL） 尿失禁 ※火曜の診療については外来までお尋ね下さい。
	医長	森 光浩	●						●		●		
	医員	鳥山 浩二			●				●				
	〃	大仁田 亨			●		●						
産婦人科	診療部長	木寺 義郎	●				●				●		産科・周産期医療 不妊症・内分泌疾患 体外受精・胚移植術、腹腔鏡下手術 更年期外来・婦人科疾患
	医長	鶴地 伸宏	●		●		●		●				
	医員	大塚 未砂子	●		●				●		●		
	〃	土井良 順子			●		●		●		●		
眼科	医長	園田 恭志	●		●		●	●	●		●		白内障手術・眼内レンズ挿入術、緑内障手術 網膜剥離手術、翼状片手術 眼瞼手術、レーザー光凝固術等
	医員	小林 武史	●		●		●	●	●		●		
耳鼻咽喉科	医長	後藤 弘毅	●		●		●		●	●	●		アレルギー性鼻炎のレーザー治療 小児の耳鼻咽喉科疾患 耳・鼻・咽喉頭・甲状腺などの手術
	医員	林田 精一郎	●	●	●		●		●		●		
放射線科	医長	大熊 一彰	●				●		●				MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査 消化管造影、内視鏡検査 内視鏡下手術（ポリープ切除）
	医員	馬場 健吉			●								
	〃	有川 俊二									●		
	〃	森 有紀											
麻酔科	医長	深野 拓	●		●		●		●		●		※月～金午前ペイン外来 ※月～金午後は手術麻酔
	医員	稲澤 昭子	●		●		●		●		●		
歯科口腔外科	医員	川村 英司					●	●					歯科一般　※診療は要予約 H15年4月1日より常勤一名となる予定
	〃	中山 秀樹									●	●	
	〃	奈良 奈美子	●	●									
神経内科	医員	黒川 智美									●		神経内科疾患一般